ファミサポだより

第 53 号
R6.2 月発行

令和5年度も、残すところ1か月余りとなりました。会員の皆様のファミリー・サポート・センターさの事業に対する深いご理解と多大なご支援により、お陰様をもちまして円滑に事業運営を進めてくることができましたことに、心から感謝申し上げます。特に、まかせて会員様にはいつもおねがい会員様に寄り添い、あたたかく、また、丁寧な援助活動を行っていただき、本当にありがとうございます。また、お忙しい中、「救急救命法講習」や「ヒヤリハット研修」等、危機管理に係る講習会にも積極的にご参加いただいていることで、これまで1件の事故なく援助活動を進められたことは、運営者としてたいへんうれしいことです。

今年度、6回計画しました講習会・交流会では、多くの会員様や市民の皆様にご参加いただき、大切な時間を過ごすことができました。令和6年度も、皆様にとって有意義な時間となるよう、現在計画中です。ご期待ください。

≪ ファミサポ・ダイアリー Part.2 ≫

～ たくさんの方の講習会へのご参加、ありがとうございました ～

＜ 第４回：講習会「ヒヤリハット研修」 ＞

講師の佐野市立保育園の保育士長さんから、保育の現場での危険な場面「くう（食事中）・ねる（午睡中）・みずあそび（水遊び）」とその時の配慮について、具体的にお話しいただきました。

帽子のゴムが伸びてしまっていると、首に掛かって息ができなくなってしまいます。すぐに直しましょう。

お子さんが口に入れそうな物は、結構身近にあるんですよ。事故を防ぐために、大人が意識しましょうね。

＜第５回：講習会「みんなの願い　交通安全～楽しく学べるドナルドショー～」＞

会場の参加者を「5歳の子ども」と想定し、講師のドナルド・マクドナルドさんが交通安全への意識が高まるよう、ユーモアを交えながら言葉掛けをしてくださいました。

この地図のどこに危険が隠れているかな？ みんなでよ～く考えてみようね！ 道路は危険がいっぱいだよ。

今日、勉強した交通ルールが守れる人は手を挙げて！は～い、よくできました。安全な毎日を過ごそうね!!

＜第６回：講習会「アンデスの風にのって　南米の縦笛　～ケーナコンサート～」＞

3年越しの待ちに待ったケーナコンサート。『ケーナアンサンブル MOKUREN』の皆様による全 14 曲+アンコールの素敵な演奏とその素朴な音色に、心癒される時間を過ごすことができました。

耳当たりのよいやさしい音色と親しみのある曲で、心地よい時間を過ごさせていただきました。(参加者談)

懐かしい曲を、みんなで一緒に歌って楽しかったです。たくさん歌って、気持ちがアップしました。(参加者談)

ファミサポの窓

≪「ファミサポさの」の歴史≫

時代の流れによって夫婦共働きや核家族が増加し、周囲から育児をサポートしてもらうニーズが高まったことによって始まったのがファミリー・サポート・センター事業です。１９９４年（平成６年）に労働省（現厚生労働省）の補助事業として開始されました。

佐野市（旧佐野市）においても、その１０年後の２００４年（平成１６年）５月６日に、市の委託事業として、佐野市社会福祉協議会内に「ファミリー・サポート・センターさの」が設立されました。ファミサポは、今年で 20 歳を迎えます。

≪「ファミサポさの」の今後≫

右の表のとおり、この２０年で飛躍的に会員数が増えました。ファミサポさの設立以来、多くの方々の「地域で子育てをサポートしていこう！」という熱い思いが、少しずつ、また確実に支援の輪を広げていったのだと思います。

年度 / 人	2004 年 (H16)	2014 年 (H26)	2024 年 (R6)
おねがい会員数	41	642	729
まかせて会員数	25	273	349
どっちも会員数	10	55	28
合　計	76	970	1,106

＜ファミサポさの会員数の推移＞

おねがい会員様としては、ご家庭の事情でお子さんの預かりや学校や習い事等への送迎をいつでも気軽に相談できる安心感があるのではないかと思います。まかせて会員様も、センターからの援助依頼に対して、いつも前向きの対応してくださっています。会員様同士の信頼関係の中で、援助活動が行われています。

センターとしましては、今後も会員の皆様のファミサポ事業へのご支援を賜りつつ、安心して子育てできる地域づくりの一端を、全力で担って参りたいと思っております。

〔まかせて会員様へ〕

現在、援助活動をされていない**まかせて会員様**で、「連絡をもらえれば、援助活動ができるよ。」という方は、ぜひセンターまでご連絡をお願いいたします。

所員の異動

お世話になりました

退職　萩原　たみえ（本所ＡＤ）

よろしくお願いします

入職　荒井　智美（本所ＡＤ）